

# 藤和けんこう通信



2018年12月号 VOL.98

院スタッフ紹介♪

発行元：藤和ビジョン株式会社（訪問マッサージ・はりきゅう/エステ/転倒予防トレーニング）  
相模原院042-855-0420 町田院042-851-7528 海老名院046-204-5482 二俣川院045-442-5439 青葉台院045-508-9560

## ～相模原院スタッフ紹介～

### 鍼灸マッサージ師：矢内 秀幸



趣味： 身体を動かすことが好きです。スポーツ観戦も好きで、アスリートの身体の使い方に興味があり、施術にも還元しています。動物が好きで色々飼っていました。

一言： 施術にしても何事においても、バランス感覚が最も大事であると考えています。人と人の関わりの中で、常にバランスを考えて仕事や施術に取り組むように心がけております。そうして周りの皆さんがより良く過ごして頂けるように努めて参りたいと思います。

### ～うさぎの話～



動物が好きで今まで様々な動物を飼ってきましたが、現在はウサギさんと暮らしております。奥さんが動物アレルギーを持っているのですが、うちのウサギさんにはアレルギーが出ないのです。あと、動物の身体の使い方は人間にも勉強になる事が多く、日々、間近で見ていると気づきが多く、師匠の様な存在でもあります。

TEL:070-5576-5233 営業相談員 中村匡志

何事も思いやりを持って対応します！



馬場悦子 矢内秀幸 佐藤文子 石井武司 若本大輔 大野佑介 長谷川佳汰 代永涼子 山上暁 小池順一 村山朋洋 細田篤矢 小形沙織 橋本政晴 吉野智子  
須藤 新 長谷川加代 増田伸二 松岡大輔 村山直樹 矢谷佳世乃 近藤マチ子 若木友保 宮田大輔 中村匡志 矢部恵 豊はる香 渡邊真之 萩原清徳 添田真理子



## 消防機関の8割、「蘇生拒否」を経験…高齢者らの救急搬送時に

(2018年9月6日読売新聞)

心肺停止の高齢者らを救急搬送する際、蘇生拒否の意思を家族らから伝えられたことのある消防機関が、全国728機関の8割に上ることが、総務省消防庁の実態調査で明らかになった。こうした場合の対応は各地で分かれており、同庁は年度内に統一的な対応方針を策定するかどうか判断する。調査結果によると、過去に心肺蘇生の拒否事例があったとしたのは616機関。このうち、昨年は403機関で少なくとも2015件あった。書面で本人の意思を確認できたのは3割に満たず、多くは家族や施設職員から「蘇生は望まない」と伝えられていた。現場で医師と連絡がつき、医師が蘇生中止を指示したケースは、少なくとも185件あった。

患者や家族らから蘇生拒否の意思を示された場合の対応方針を定めていたのは332機関。医師の指示に基づいて心肺蘇生をしなかったり、中止したりできるとしていたのは、このうちの3割。多くは心肺蘇生をしながら搬送するとの内容だった。対応方針を定めていない396機関のうち、7割が「国が統一的な方針を定めるべきだ」と主張した。救急搬送者に占める高齢者の割合は増えており、同庁は外部の専門家でつくる「救急業務のあり方に関する検討会」に部会を設け、実態調査を進めていた。

## 「介護離職ゼロ」へ新設予定、4割の整備中止

(2018年9月27日読売新聞)

「介護離職ゼロ」を目指し、2016年度と17年度に新設される予定だった県内の介護施設68施設のうち、約4割にあたる29施設が整備中止になっていたことが、県への取材でわかった。市町村の公募に対し、運営事業者が集まらなかったことが主な要因。県は「事業者が手を挙げない背景には、深刻な職員不足がある」とみて、人材確保の対策に力を入れる方針だ。

県の推計で65歳以上人口が20年度にピークを迎える本県では、特別養護老人ホームの待機者が4591人(17年4月現在)に上るなど、介護施設の整備促進は大きな課題だ。新設を計画していた68施設は、政府が15年度に掲げた介護離職ゼロを達成するため、国と県の基金を利用し、市町村が16年度から運営事業者を公募していた。

整備できなかった29施設の内訳は、認知症の人が共同生活しながら暮らす認知症グループホームと、1事業所で通所・訪問介護、一時宿泊を行うことができる小規模多機能型居宅介護が各8件と最多。小規模特養も1件あった。県が市町村に中止の理由を尋ねたところ、「事業者の応募がなかった」などの公募不調が20施設、職員不足が7施設など。県は、公募不調の20施設についても職員の採用難が背景にあるとみている。

釜石市では17年度、特養など6施設の運営事業者を募ったが、整備に着手できたのは1施設のみ。市の担当者は、介護職の給与が全産業平均よりも月約10万円低い現状を挙げ、「低賃金などを理由に人が集まらない。人がいなければ、介護施設は増やせない」と頭を抱える。岩手労働局によると、県内の介護職の有効求人倍率は2・43倍(18年7月)。5年前は1・20倍だった。盛岡市で今年度に開設した特養(定員90人)では、職員が集まらず、20人分のベッドが今も空いたまま。施設長は「満床にするには職員を約10人増やす必要があるが、めどが立たない」と打ち明ける。県は今年度予算で、中高年の介護未経験者を対象にした研修や、介護に関心のある高齢者らを対象にした介護施設見学のバスツアーなど、人材確保策を打ち出した。県長寿社会課の担当者は「特効薬はない。介護職はやりがいがあり、社会的に意義のある仕事だということを地道にPRしていくしかない」としている。

## 無料体験マッサージ、いつでもお気軽にどうぞ

TOWA  
藤和

とうわ  
藤和マッサージ

【訪問マッサージ・はりきゅう】

相模原院 ☎042-855-0420

町田院 ☎042-851-7528

海老名院 ☎046-204-5482

二俣川院 ☎045-442-5439

青葉台院 ☎045-508-9560

エステ・転倒予防トレーニング ☎0120-900-894

相模原市南区南台4-13-23-1階

町田市森野4-17-23-2階-B

海老名市中央3-3-13-202

横浜市旭区二俣川1-32-100

横浜市青葉区榎が丘14-3-205